

# 国際人育成委員会 事業計画

国際人育成委員会 委員長 酒井 琢磨

労働力不足や生産年齢人口の減少、地域内需要の縮小から、異なる文化の人々が増加し、地域社会の変化が生じている今、郷土の誇りを根底としたグローバルな視点をもった持続的な地域発展への主体者意識の醸成が求められています。国際都市の実現には多様性への理解や既存の価値観からの変化に対する柔軟な適応が不可欠だからこそ、我々の国際的成長の機会を活用した他国籍との相互理解の精神をもった人材を育成する必要があります。

まずは、国際都市実現に向けた大きな力で運動を展開していくために、行政や友好団体へ地域における国際化の可能性と我々の目指す方向性を共有することで、同じ目的に向かう継続的なパートナーシップが築かれます。そして、自主的に国際社会へ貢献できる人材となるために、地域課題から国際社会実現への我々の考えを構築し、国際コンベンション開催を見据えた地域の魅力や国際人を尊重した、異文化に対する相互理解の大切さを共感することで、多文化共生社会の実現に向けた組織基盤が確立されます。さらに、多様性を認め柔軟に変化できる市民の意識を醸成するために、文化の違う人同士が地域独自の魅力や様々な価値観に触れ異文化に対する理解と認識を深め、言語や習慣等の相違を越えた心の触れ合いをもたらしたアイデンティティの再構築を図る国際交流事業を行うことで、多角的な視点からまちを創造する人材となります。また、国境を越えた友好関係がもたらすグローバル化を推進するために、互いの地域課題を共有し嘉義国際青年商會との経済交流や協力体制の強化を図ることで、国際社会の実現に向けて能動的に活躍する組織となります。

行政や他団体、各LOMとの継続的な友好関係が築かれ、自分とは異なる文化や習慣への寛容さや理解を示す人材となった我々は、多角的な視点から多様性を認めた組織となり、市民とともに新たな価値を創造し、多文化共生社会を目指した国際都市水戸となります。

## <事業計画>

1. 更なる友好関係を築く新春賀詞交歓会の開催
2. 人的資本を向上させる国際理解事業の開催
3. 多文化共生社会実現に向けた第一歩となる国際交流事業の開催
4. 国境を越えた国際交流機会の創出